

あしつ 育成だより

24

立教 187年 1月 24日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部

- 特集 ①第3回学生会総会開催
②秋のさまざまな行事



《親のことば》

青年期は、将来の実りのご守護を頂くための伏せ込みの期間であります。新しいことに挑戦していくことも必要ですが、それにも増して、教理の実践によって布教と求道に励み、自らの内面を掘り下げて、親神様のお心に沿えるよう心の成人に努めていただきたいのであります。

(立教 186年 青年会総会真柱様メッセージより)

①第3回学生会総会開催

学生が集い 充実した活動を誓う



○積極的に参加を勧誘

芦津学生会は令和5年10月29日、大教会で第3回総会を開催しました。この日は、芦津に繋がる高校生、大学生、専門学校生ら38名が参加しました。

今回の総会に向けて学生たちは、「おつとめ衣を着ておつとめを勤めよう」との思いから、毎月第2日曜日に親里で開催している「学生参拝デー」の後、詰所の修養科修練場をお借りして、おつとめ練習を実施。学担委員の指導のもと、地方、てをどり、鳴物の練習をした上で、本番を迎えました。また学生たち自身が参加者を勧誘するために積極的に声をかけ、これまでで最も多い参加者が集まりました。



修養科修練場でのおつとめ練習

○おつとめに心を込めて

総会当日は、午前10時、木村里香委員長（芦明徳）が祭文を奏上。1年間の活動のお礼と、教祖140年祭に向け、教祖のひながたを学び、教祖にお喜びいただけるよう通ることをお誓いしました。その後、おつとめ。続いて3交代でおつとめ。練習の成果を発揮しようと、勇んでおつとめを勤めました。初めておつとめ衣を着ておつとめに参加する学生もいましたが、懸命に自分の役割を勤めました。



祭文を奏上する木村里香委員長（当時）

○人を思いやれる学生会に

続く式典では、続く式典では、木村真次・学生担当委員会委員長が開会の挨拶をし、続いて「よ

うぼく一斉活動日」のご本部からのメッセージビデオを、引率者も含め全員で視聴しました。

続いて大教会長様からご祝辞を頂きました。「おつとめを勤めることと、おさづけを取り次ぐことを、教祖が一番喜んでくださる」と、学生たちに教えの実行を促された上で、「相手のことを思いやり、声をかけ、手を差し伸べられる、そんな学生会になってもらいたい」とご期待を述べられました。



大教会長様よりご祝辞を頂いた

続いて、この総会をもって退任する木村里香・学生会委員長が挨拶。「私は学生会でたくさんの仲間と出会い、たくさんの思い出ができて、最高に楽しい学生生活を歩むことができました。皆さんもぜひ活動に参加して、学生会を盛り上げてください」と、学生会での活動を振り返りながら、希望を述べました。続いて森道治・新委員長(芦南)



挨拶する森道治委員長

が「新しいことにチャレンジして、誰もが参加したいと思えるような学生会にしていきたいと思います」と今後の活動の抱負を述べ、「学生参拝デー」と3月28日に開催される「春の学生おちばがえり」と、前日27日に実施する「HAPPY徒歩団参」への参加を呼び掛けました。

○仲間と共に進もう

記念写真撮影の後、食堂で昼食とアトラクションを実施。学生会総務が参加者を楽しませようと趣向を凝らし、班対抗でスリッパリレーやクイズなどの楽しいアトラクションを行い、会場は学生たちの歓声と笑い声、笑顔があふれました。最後は、大教会長様をはじめ、婦人会・青年会・少年会・学担から豪華な景品を提供いただいて福引大会を行い、食堂は学生たちの歓声に包まれました。



学生自身が趣向を凝らしたアトラクション

参加した学生からは「とても楽しい時間を過ごすことができた」「いろいろな人と話すことができた」といった感想が聞かれました。

1年間、毎月の参拝デーを中心に活動を続けてきた芦津学生会。これからの芦津大教会を私たちが盛り上げていこう！と、大勢の仲間とともに活発に活動を進めていきます。

②秋のさまざまな行事

家族ぐるみで 大教会で 詰所でひのきしん

10/21 あしつファミリーひのきしん

10月21日、育成部（山田道弘部長）は、大教会で今年2回目の「あしつファミリーひのきしん」を開催。親子が揃って大教会に伏せ込み、旬の理づくりをさせていただこうと、午前の部には、大人18名、子供11名、午後の部には、大人10名、子供8名が参加しました。

午前10時30分、お願いづとめ終了後にひのきしんが始まり、大教会参道の植木の剪定、除草、会長宅側の植木の剪定を各所に分かれ、和やかな雰囲気の中でひのきしんに汗を流しました。

午後からも午前のひのきしんを続けて行い、終了後は参加者に大教会のお下がりをお配りしました。

参加者からは、「家族で和気あいあいとひのきしんができ、どんどんときれいになっていくので、

気持ちよかったです。また家族で参加したい」といった声が聞かれました。今年も年2回開催予定です。



12/27 詰所餅つきひのきしん

12月27日、詰所で餅つきひのきしんが行われ、大人64名、子供37名、計101名が参加しました。

今年は詰所からの声掛けにより、例年以上に家族ぐるみでのひのきしんが大幅に増え、多くの家族が、前日から詰所に宿泊。ひのきしん者は老若男女問わず、朝早くからガレージや食堂に分かれて、ひのきしんに勤しみました。

午前8時より、1つが1斗の鏡餅を17個つき上げ、30日にご本部へお供え。神殿に運び込まれた鏡餅は、上段の四隅に積み上げられました。

正月三が日にお供えされた鏡餅は、1月4日の「鏡開き」で切り分けられ、おさがりとして5日からの「お節会」で帰参者にふるまわれました。





大島分教会（加世田洋会長）は、11 月中に大島分教会をはじめ、部内教会、布教所、講社など8カ所で「ファミリーおつとめの集い」を開催しました。コロナ禍以降は分散して集いを開催していましたが、今回は初めて詰所での開催が実現しました。

11月3日は、大島分教会で開催。座りづとめ、よろづよ八首の後、大教会長様からのお祝いのことばを森誠一朗育成部長が代読。「年祭活動は、日々教祖のひながたを目標に、生活の中で信仰を実践し、人だすけに励む旬。そのために教祖はおつとめおさづけをお教え下さった」として、つとめとさづけの

実行を促されました。加世田会長のメッセージを読み上げた後、少年会員の門出式を行いました。

11月26日には、詰所修養科修練場で開催。関西在住の大島に繋がる信者家族が大勢集まり、にぎやかな雰囲気の中、熱心におつとめを勤めました。

大島分教会全体での参加者数は、少年会員36名、育成会員101名でした。

おつとめ衣を自分で着られるように

11月25日、芦津女子青年（北村はぎ乃委員長）は詰所で「着付け勉強会」を開催。女子青年6名と婦人会女子青年担当者3名が参加しました。

初めに修養科棟修練場で着付けの勉強。婦人会担当者が講師となり、実際に自分でおつとめ衣を着ながら、着付けの際のポイントを学びました。

その後、ご本部のお願いづとめに参拝。昼食を挟んで。午後からは、再び修練場で帯の結び方を詳しく学びました。

参加者からは、「なかなか教えてもらう機会のな

いことなので、とても勉強になりました。一人できれいに着ることができるようになりたい」などの感想が聞かれました。



あしっスプリングフェスタ

3/27 ~ 30 春の若年層育成強調期間

27
水

HAPPY 徒歩団参 ~帰ろう おちばへ~

【対象】中学生から 25 歳まで

【内容】詳細については、今後お知らせします。

28
木

春の学生おちばがえり ~次代を担う ようぼくへ~

【内容】午前 10 時より式典【本部中庭】

午後から直属アワー【詰所】

29
金

わかぎの集い ~繋がる 同世代の仲間と~

【対象】所属教会に繋がる中学生

【内容】午前 10 時開講【大教会】

おつとめ練習 お楽しみ行事など

30
土

第 52 回少年会芦津団総会

【内容】午前 10 時開会【大教会】

おつとめ（8 交替） 総会式典 成人門出式

お楽しみ行事 お供え作品展

① 第 3 回学生会総会開催

② 各会の秋の行事

あしっ 育成だより 24

立教 187 年 1 月 24 日発行
編集 / 天理教芦津大教会育成部